

2日間

法体系の違いからみた 外国商標制度の特記事項とリスク対策

～国際登録、米・欧・中・各国商標制度の特殊性と対応策～

難易度
中級

講師	青木 博通 氏	ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士	
日時	2023年7月13日(木)、14日(金) 13:30～16:30		

◆経済のグローバル化により、大企業のみならず、中小企業も海外進出を余儀なくされています。海外での商品の生産、販売、流通には自社商標の登録が不可欠です。

◆本講座では、まず、外国商標出願、調査の基本について、商標の種類、商品・役務の記載方法（例：namelyとin particularの違い）を踏まえて解説します。次に、法体系の違い、法改正の動向を踏まえて（米国同様に使用義務強化を図る中国、ミャンマー等）、各国商標制度の特記事項と対応策について、最新の改正情報を含め解説します。

◆日本と全く異なる法体系（使用主義、フロード、消費者保護中心）からなり、注目される最高裁判決が続く米国、有効登録件数3700万件を超え（2021年）、模倣品の多い中国、27か国をカバーする欧州連合商標制度については、中間処理の方法も含め、特に詳しく解説します。

◆インターネット・メタバースに関する権利形成・商標権侵害の日米欧の比較や、NFT関連の動向も解説します。

◆商標の国際登録制度「マドリッド協定議定書」については、最近顕在化してきたリスクとその対応策、ハーグ協定（意匠の国際登録制度）との比較と活用法についても言及します。

◆最後に、復習の意味で、外国商標制度の項目毎（横串）に、日本にはない特殊な制度を中心に、各国制度をテンポよく紹介します。本講座を受講することにより、各国バラバラな外国商標制度について、最新の情報に基づき、法体系を踏まえて立体的に効率よく学習することができます。

テキストはPDFで共有させていただきます

【解説内容（予定）】

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国商標出願の基本
(商標の種類、商品・役務の記載方法) 2. 外国商標調査の基本
(識別性、類否判断、各国特有のチェック) 3. 外国商標出願のルートと出願戦略 4. 法体系の違いからみた外国商標制度 5. 各国商標制度の特記事項と対応策
米国、カナダ、欧州、ロシア、中国、アジア(ミャンマー)
オセアニア、中近東、アフリカ、北米、中南米 | <ol style="list-style-type: none"> 6. マドリッド協定議定書のリスクと対策
(1) マドプロのリスクと対策
(2) マドプロとハーグ協定（意匠の国際登録制度）の比較と活用法 7. 他の法律との関係
(1) 不正競争防止法 (2) パッシングオフ
(3) 著作権法 (4) 意匠法 (5) 民法 8. グローバル企業の商標戦略 9. 項目別各国制度のまとめ 10. 日米欧のインターネット・メタバース上の商標権侵害の比較 |
|---|--|

◇この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。この研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5単位が認められる予定です。（※zoomにてご参加下さい。アーカイブ視聴は単位認定対象外です。）



LIVE

ライブ配信だからその場で講師に質問可能 & アーカイブ配信も実施（各講義翌日から1週間）
・聞き逃しても安心！期間内はなんどでも。
・再生速度を変更可能！

受講料	会員17,850円 一般21,000円（※税込）	
申込	「発明推進協会 研修」で検索 http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaikenshu_tanki.html	
お問合せ先	(一社)発明推進協会 研修チーム TEL 03 3502 5439	

申込みページ
QRコード